


BRAIN
DESIGN
COPY
CM
WEB



特集 
広告を変える先端技術

誰も見たことが
ない表現

AR・3D

ブレイン

2

FEBRUARY 2010 VOL.595

ジャパン・オリジン
に世界が注目

青山デザイン会議



柿沼康二



挾土秀平



和田 智





NEW CREATOR

VOL.11

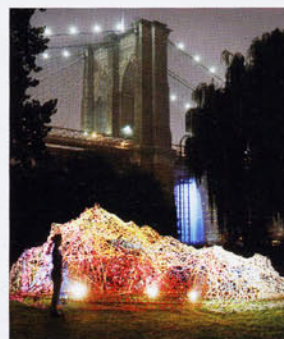
Natsu

プラスチックビーズを繋ぎ合わせ、長時間かけて一つひとつの作品を作り出す Natsu さん。原子の粒が万有を成すように、ビーズの粒が生み出す無限のパターンを通じて、宇宙の構造や存在を探索しているという。キラキラと美しい作品は、私たちの奥深くにある、忘れてしまった大切な何かを思い出させてくれる。

時間を芸術に変えていく

Natsuさんがビーズを使った複雑な網構造の作品を作り始めたのは、NYのアートスクールへ留学した時から。「アーティストを職業として周囲が認めてくれる街」であるNYにその後も在住し作品を発表し続けている。「ビーズをつなぐ作業は反復的で無意識に近く祈りにも似ています。ビーズの語源も祈りなのです。作りたいものをイメージして手を動かしていますが、コントロールできない自然な手の動きも大事にしています。制作に費やす長い時間を芸術に変えていきたい」とNatsuさんは言う。

09年にミキモトホールで行われた個展では、真珠のネックレスをイメージした「月のなみだ-Tears of the Moon-」を



01~03 Photo Teru Onishi

展示した。「真珠は貝の中にできる不思議な宝石。月のしずくや人魚の涙とも言われます。月のなみだが夜空から振り注ぎ、出来た湖を表現しています」とNatsuさん。作品には神話が吹き込まれ、付けられた詩が独特の世界を生み出している。

アートを通じ、人と地域をつないでいく活動にも意欲的だ。米国を襲ったハリケーンカトリーナによって破壊された家に構成した、きらめくクモの巣のようなインスタレーション「Weaving of Fate-運命を織る-」は、すさんだ空間に変化をもたらし、人々の関心を地域に集めることができた。「忘れていた大切なことを思い出させてくれるような、キラキラと美しい作品を作りたい」と話した。



Natsu
1976年生まれ。女子美術大学芸術学部造形計画専攻卒業。子ども服のデザイナーを経て、2000年NYへ渡りParsons School of Design、National Academy School of Fine Artsでアートを学び、現在NY在住。主な展示にアジア現代アートフェア、ダンボアートフェスティバル(NY)、コム デ ギャルソン(香港)など。LMCCロウアーマンハッタン文化基金スタジオプログラム(NY)、Aljira現代アートセンター Emergeプログラム(NJ)受賞。
www.natsuuniverse.com

- 01 「Weaving of Fate -運命を織る-」
ハリケーンカトリーナが襲ったニューオーリンズの街にアートを展示するプロジェクトでのインスタレーション。
- 02 「月のなみだ-Tears of the Moon-」(写真手前)。
ミキモトホール(ミキモト本店6階)で開催した個展会場にて撮影。
- 03 「The Lost State」
第13回岡本太郎現代芸術賞に入選した作品。
2010年2月6日から川崎市岡本太郎美術館でもこの作品を見ることができる。

01
02 | 03